

平成26年度 第1回社会教育委員の会議 会議録

- 1 開催日時 平成26年5月26日(月) 14時00分～16時00分
- 2 開催場所 中央生涯学習センター5階 人材かがやきセンター研修室
- 3 出席委員 14名
廣瀬委員長, 高橋副委員長, 上野委員, 刀川委員, 今井委員, 福田委員, 櫛淵委員,
坂本委員, 荻野委員, 清島委員, 吉田委員, 伊藤委員, 河田委員, 小平委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 議 事
 - (1) 報告事項
 - ① 「社会総ぐるみによる人づくり」の合言葉について
 - ② あかちゃんタイムの実施について
 - (2) 協議事項
 - ① 「読書推進ガイドブック」について
 - ② 各種協議会等への委員の選出について
 - (3) 意見交換
 - ① 「社会の要請」の高まりへの今後の対応について

7 発言の要旨

廣瀬委員長	それでは、副委員長長の選出について、進めさせていただきます。 副委員長長の選出について、何か御意見のある委員の方おりますか。
吉田委員	委員の皆様の経歴など、わからないこともありますので、事務局で案があればお願いしたいと思います。
廣瀬委員長	ただ今の吉田委員の御意見について、何かありますでしょうか。 特に無いようですので、事務局から案があれば説明をお願いします。
事務局	【事務局案として、高橋議員を副委員長に提案】
廣瀬委員	ただ今、事務局から高橋委員を副委員長に推薦がありましたが、これにつきまして委員の皆様から何かありますでしょうか。 (異議なしの声)

廣瀬委員長	<p>それでは、異議なしとのことですので、高橋委員に副委員長をお願いしたいと思います。高橋委員、席の移動をお願いします。</p> <p>それでは、副委員長の選出にあたりまして、高橋委員から一言、ご挨拶をいただきたいと思います。</p>
高橋委員	<p>副委員長に選出いただきましてありがとうございます。4年前にもこちらの委員をやらせていただきまして、これも何かの縁かと思えます。会議がスムーズにいくよう一生懸命頑張っておりますので、よろしくお願いします。</p>
廣瀬委員長	<p>ありがとうございます。それでは議事に移らせていただきます。</p> <p>本日の議事は、報告事項2件、協議事項2件、その他に意見交換を予定しております。後半の意見交換に時間をかけたいと思いますので、ご協力よろしくお願いします。</p> <p>それでは、報告事項①「社会総ぐるみによる人づくり」の合言葉について、教育企画課より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料について説明】</p>
廣瀬委員長	<p>ありがとうございました。非常に良い合言葉が決まったと思います。何か委員の皆様から、御意見等ありますでしょうか。今井委員どうでしょうか。</p>
今井委員	<p>言葉にしやすく、良い合言葉だと思います。ぜひとも広めていきたいと思えます。</p>
廣瀬委員長	<p>ありがとうございます。他の合言葉の候補を見ると、全て「大人」という言葉が含まれておりまして、今回決定した合言葉のサブタイトルに「大人」という言葉が含まれているのが、良いアイデアだなと思いました。</p> <p>やはりきちんと大人が手本となることを前提に、子どもの未来を作っていくという市民としての自覚を促すということで、私はサブタイトルも非常に良いと思いました。</p> <p>それでは、皆さんでこの合言葉をいろいろなところで使っていまして、広めていきたいと思えますので、ご協力お願いいたします。</p> <p>次に、報告事項②あかちゃんタイムの実施について、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料について説明】</p>

廣瀬委員長 ありがとうございます。映像もわかりやすいと思いました。
委員の皆様から何か御意見等ありますでしょうか。

今井委員 子ども連れ以外の図書館の利用者からの反応は、どうでしたか。

事務局 一般利用者から、特に苦情等の御意見は無いところです。

今井委員 もう1点。赤ちゃんタイムの実施時には、館内放送でアナウンスをしていると思いますが、館内放送のアナウンスが流れていない時の周知方法については、どのような方法を考えていますか。

事務局 館内にポスターを掲示して、日時について周知しております。その他にはホームページでも周知しております。館内放送は、赤ちゃんタイムの開始前と終了後にアナウンスしております。

廣瀬委員長 その他に、何かありますでしょうか。

荻野委員 このような事業を市が実施しているということで、素晴らしいことだと思いました。親が子どもをつれて図書館に来るという姿を一般の人や高校生が見ることになります。これはとても素晴らしいことだと思います。高校生や中学生が大人になった時に、図書館が非常に身近なものに感じるようになると思います。中学生や高校生など、これからお父さんお母さんになる若者に周知できるということは、非常に良いことだと思います。

廣瀬委員 ありがとうございます。では吉田委員。

吉田委員 事業として良い内容というのが第一印象です。この赤ちゃんタイムは、図書館のお話会にあわせて実施曜日を決めているのでしょうか。そのようなことであれば、将来的に少ないところは回数を増やしてもらえればと思います。

事務局 回数については、先進市などでは反対の意見もあったということを聞いております。宇都宮市では好評なスタートでありまして、回数についても状況に応じて増やしていくことも視野にいれて検討していきたいと考えております。

廣瀬委員長 その他の委員の方、どうでしょうか。

小平委員 非常に良い取り組みがスタートしたと感じております。
図書館に行くきっかけづくりになると思いますので、今後、いろいろな

人に知ってもらうことが必要だと思います。ぜひ、教育委員会だけにとどまらず、子育てサロンや保育園など、子ども達が多く訪れる場所で周知をしていただき、多くの方に理解してもらえると、新しい展開が図れると思います。検討をお願いします。

廣瀬委員長

他に御意見どうでしょうか。

高橋委員

このような小さな子どもへの本の取り組みというのは非常に重要だと思います。自分の経験からも、小さなころから本に触れることを習慣付けることは大切だと思います。

この赤ちゃんタイムについては議会の女性議員から出た提案でもありまして、このようなきめ細かい子育ての視点から、子ども達の将来のための事業が全国に発信していけたら良いと思います。

廣瀬委員

ありがとうございます。社会教育委員から絶賛の事業ということで、すばらしい事業だと思います。まさに社会教育だなと感じたところです。

では、報告事項は以上としまして、次に協議事項に移りたいと思います。協議事項①「読書推進ガイドブック」について説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

ありがとうございます。ただ今の「読書推進ガイドブック」について、御意見いただきたいと思います。いかがでしょうか。

荻野委員

私の経験での話しになりますが、小学生のころ自習の時間に図書館で自習することがありました。そこには司書の先生がいて、図書館で1時間、1冊の本に集中して、黙って自習をした思い出があります。

読書への導入については、いろいろな方法があると思いますが、ひとつの例として、参考になればと思います。

廣瀬委員長

ありがとうございます。他に御意見どうでしょうか。

刀川委員

今の荻野委員の話などは、小学校の1年生の読書指導で行っていることでして、それが大人になっても役立っていることかなと思います。司書の先生が配置されておりますので、そこでルール作りなど出来ていると感じています。

この読書推進ガイドブックについては、今は小学生でもかなりインターネットなどから情報を収集することが出来るので、例えば、自然科学などの分野の情報も入れてもらえると、家庭でも連携して学校の勉強の補充などを出来るのではないかと感じました。

廣瀬委員長 ありがとうございます。他に伊藤委員どうでしょうか。

伊藤委員 読書が苦手な人，図書館から遠ざかっている人からすると，「読書推進ガイドブック」という名称だと，なかなか手にとってもらえないのではないのでしょうか。「私には関係のない本だな」と思われてしまうかなと思いました。まずは手にとってもらうことが大切だと思いますので，興味を引くような，ちょっと読んでみたら意外と面白いと思ってもらえるようなガイドブックにしてもらえたらと思います。

廣瀬委員長 ありがとうございます。他に御意見どうでしょうか。皆さんの声を反映したものを作ってもらえると思いますので。

福田委員 このガイドブックの情報は，同じものがインターネット上で見るができるのでしょうか。それともどこかにリンクされる等，どのような予定でしょうか。

事務局 冊子の場合ですと，なかなか更新が難しいところもありますので，作成したガイドブックの情報を図書館のホームページに掲載して，随時更新していきたいと思います。また広告ページもありますので，広告主のところにリンクするなど，出来るだけこのガイドブックから多くの情報を取れるようにしていきたいと思っております。

 また，ガイドブックは，ある程度，固定された情報となりますので，先ほど御意見のありました，学校教育に参考になるような本の紹介などにつきましては，例えばホームページ上でご案内するなど検討していきたいと思います。

福田委員 このガイドブックの情報は，宇都宮市のおすすめの本になると思いますので，予算の問題もあると思いますが，例えばスマートフォンなどに情報を配信できると利用頻度も上がるのではないかと思います。

廣瀬委員長 ありがとうございます。他に御意見どうでしょうか。

 では，上野委員お願いします。

上野委員 このようなガイドブックやホームページを作ることは非常に良いことだと思いますが，今の高校生が1年間にどのくらいの本を読むかと言うと，私の学校で年間2冊程度でありました。実態としてそのような状況です。

 そしてスマートフォンの操作時間ですと，1日4～5時間という学生が60%という状況です。このような状況ですので，例えば本を買ってポイントが貯まると何かに交換できるなど，高校生が興味をもつような工夫があると本屋に近寄るのではないかと思います。

他には、例えば、お店のホームページからポイントを貯めると、それが本が不足している国の子ども達への寄付行為につながるような、自分が何かすることによって、それが他のアクションにつながるとなると、ボランティアなど何か運動につながってくるかなと思います。

一方的に本を読めとなってしまうと、押し付けになってしまうので、本を好きではない人たちへ社会参加の動機づけができるような工夫や仕組みを考えていただくと、効果的だと思います。

廣瀬委員長

ありがとうございました。本の購入活動が社会参加につながるとすれば、そこから何か一步前に進む感じがしますね。御意見ありがとうございます。

他に何かありますでしょうか。

それでは、協議事項①については以上といたします。

続きまして、協議事項②各種協議会等への委員の選出について、説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

この委員の中から、2名選出するということですが、何か御意見ありますでしょうか。では、榊委員をお願いします。

榊委員

選出について、事務局で案があればお願いしたいと思います。

廣瀬委員長

ただ今、榊委員から、事務局案ということでありましたが、どうでしょうか。

(異議なしの声)

廣瀬委員長

では、事務局から案をお願いします。

事務局

【事務局案として、栃木県社会教育委員協議会評議員に廣瀬委員長を、うつのみや人づくり推進委員に河田委員の選出を提案】

廣瀬委員長

事務局から提案がありましたが、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

廣瀬委員長

では、事務局の案で決定といたします。私と河田委員で役割を務めさせていただきます。よろしくをお願いします。

では、次に(3)意見交換に移りたいと思います。

事務局から説明をお願いします。

事務局 意見交換については、グループワークで実施したいと考えております。場面転換等の準備をしますので、5分程度、御時間をいただきたいと思っております。

事務局 **【資料について説明】**

【その後、グループごとに意見交換】

【意見交換の結果をグループごとに発表】

事務局 こちらのグループでは、「子どもの育成・教育環境」、「労働環境」、「高齢化」、「少子化」といったものが課題としてあがりました。

「子どもの育成・教育環境」では、家庭の経済格差による学習格差や子育てに関する知識が不足している親の問題があがりました。また高齢者にも言えることですが居場所がないという御意見もありました。

「労働環境」では、グローバル化する中、少子化とも関係して深刻な問題となっているという御意見がありました。

「高齢化」では、高齢世帯や高齢者の単身世帯が増えてきているという問題がありました。

「少子化」では、兄弟がいないことが子どもの育成に影響しているのではないかという御意見がありました。

対応策としては、学習支援としては、親学など必要だという意見、また、グローバル化する社会の中で、地域や日本など良く知るということが根本的な解決につながるのではないかという御意見がありました。

高齢者については、弱者としての高齢者にどう対応していくかというよりも、いかに楽しく元気に生活できるかという学習や施策が必要ではないかという御意見がありました。

その他には、全体を通してですが、こういった問題は地域が自ら動き出さなければ解決につながらないことから、地域課題に対して動いていける学習、ボランティアを作るような学習も必要ではないかという御意見もありました。以上になります。

事務局 このグループでは、課題については、「子育て」に関する課題が多くあがりました。子育てがわからない親の問題、人との関わりに不安をもっている子どもがいるなどの問題が、御意見としてあがりました。

また、責任感が少なくなっている成人が多くなっているのではないかということで、これはすべての世代に関係する問題ですが、昔は目上の人も含めた地域のコミュニティが形成されており、そこで情報交換などが自然と出来ていたが、現代ではそういったことが出来なくなっていることが大きな問題になっていないかという御意見がありました。

それらの対策としては、親の不安を解消できる場面をもっと作っていくことや、子どもに対しては、体験を通じた学習をもっと提供していく必要があるだろうという御意見がありました。また、親学などの場合、自分の子どもの前よりも、他の子どもの前だとしっかり出来る一面もあるのではないかということから、全ての年代通じて、いろいろな人と関わられるような場面や環境づくりに、社会教育として整備していく必要があるだろうという御意見がありました。以上です。

事務局

こちらのグループでは、まず、スマートフォンやSNSなどの危険性という問題があがりました。そこから派生して、特殊詐欺等の課題もあがりました。

具体的に、誰に対しての学びが必要かというところですが、中高生本人へ対しても必要ですが、保護者への啓発がやはり重要だろうということでした。中高生に対しては利便性と危険性の認識について、親については管理体制ということで、フィルタリングなどの学習が必要だろうという御意見がありました。

もう一つは、介護の問題や、高齢者のひきこもりなど、高齢者に関する問題が課題としてあがりました。

対応としては、高齢者本人だけでなく、家族にも学習を提供する必要があるだろうということで、家族には地域をもっとよく知ってもらい、地域のコミュニティがもっと使えることを知ってもらう必要があるだろうという意見がありました。また、高齢者の特殊詐欺などについては、事例や法令などの学習を提供していく必要があるだろうということでした。

そしてもう一つは、子どもの問題です。特にスポーツ離れや遊びの減少などが深刻だと言う御意見がありました。

こういった問題に対しては、学校の先生や親に対して、地域での遊びやスポーツの機会の創出の必要性や、地域にはいろいろな人材がいますので、そういった人たちを発掘できるような学びが必要なのではないかという御意見がありました。

そして、若者の就労という視点での意見がありました。非正規雇用の問題など、今後の日本を考えると良くないだろうということでした。

こういった問題に対しては、学生にもっと職業観を広めるもらうことが必要だということ。また、企業には、もっと学生に企業のことをよく知ってもらうことが必要なのではないかという御意見がありました。

事務局

最後のグループですが、課題については、高齢者に関する問題、スマートフォンに関する問題という御意見のほか、郷土愛の醸成や隣人愛というものが課題である、また、活動の持続が難しいという御意見もありました。

そのような中で、何が一番の原因なのかというところで、「貧困」というフレーズが出てきました。この「貧困」というものが全ての課題につなが

っているのではないかという御意見でした。

では、どのような形で学習をするのかですが、そういった方々が学びに来てもらうためには、どのような方策ができるのかということで、例えば、お金がかからないで学習の場に出られる等の具体的な御意見がありました。また、居場所が必要ではないかという御意見もあったところです。

その他には、隣人愛や道徳など精神的な学習の重要性についても御意見があったところです。

廣瀬委員長

各グループの意見を聞いてみますと、それぞれのグループで議論していた内容が、それほど大きく異なっていなかったと思いますが、皆さんどうでしょうか。どのグループもそれほど大きくずれていないと思います。

まず、ひとつは子どもの教育環境の問題、保護者の問題などがあげられています。

私はこの社会教育委員の会議で印象に残っている言葉があります。それは、榎渕委員からの言葉ですが、『「今の親が」と言ってはダメ』という言葉です。

つまり榎部委員は、「今の親じゃなくて、私たち自身が変わらなくてはいけない」という意味で話されておりまして、その言葉を聞いて、我々の意識を変えないといけないなと思いました。

だから、家庭教育の低下ではないのです。家庭に家庭教育をさせない社会環境をつくってしまったのです。そこをしっかり見つめ直さないと、親のせい全部してしまう社会になってしまうということが、皆で認識されたということです。

もう一つは、雇用の問題、労働環境、若者の就労、非正規雇用や貧困など、雇用の問題と生涯学習が密接に結びついているということが、皆さんの議論の中に出てきている。それが大きな問題だと思います。

貧困の問題は、様々な問題に派生していきます。貧困から派生するいろいろなものが学校に現れます。最近では、文部科学省でもSESという言葉で、家庭の社会的背景が子どもの学力に影響するということを言うようになりました。貧困や雇用の問題と我々は向き合わなければならないと、あらためて今日の皆さんの議論から感じたところです。

事務局

【次回の会議日程について説明】

事務局

本日は長時間に渡ってのご審議、誠にありがとうございました。以上をもちまして、平成26年度第1回社会教育委員の会議を閉会いたします。